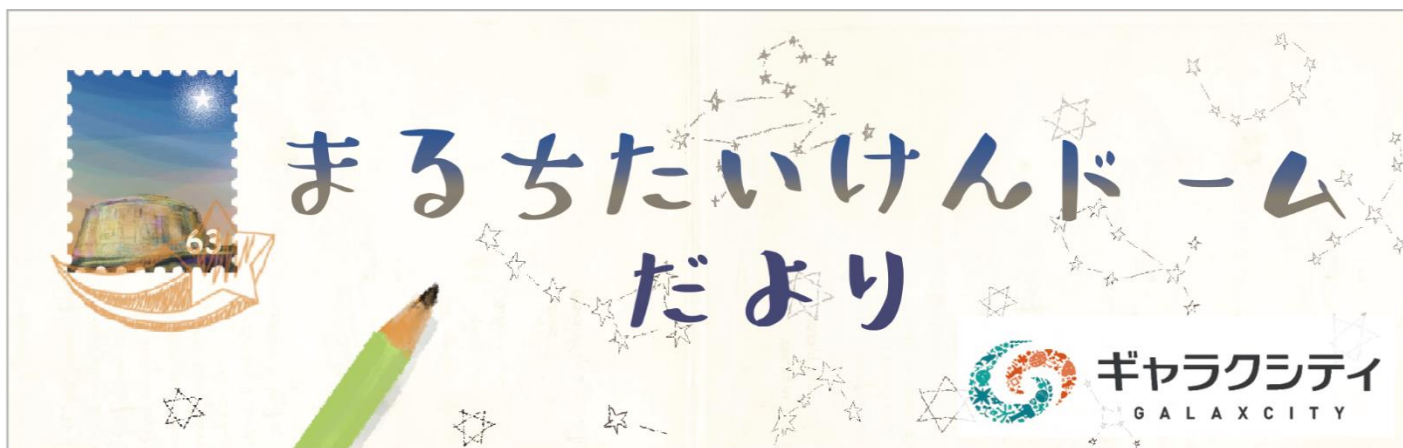




かせい つき 火星の月、フォボスとダイモス

2020 年 10 月、火星が^{わたし}私たちの^す住む地球に^{せっきん}接近します。

火星は地球のとなりの惑星^{わくせい}で、約^{やく}2年2か月ごとに地球に接近するんですよ。

そんな火星にも「月」があるのを知っていますか？

しかも、2つも！ 今回は、そんな火星の月^{しょうかい}を紹介しましょう。

1. 「フォボス」

地球の月は丸い形^{かたち}をしています、このフォボスはジャガイモみたいな、でこぼこした形をしています。

大きさは、月の直径^{ちようけい}が約3500kmであるのに対して、フォボスの直径はたったの 21km！ 小さいんですね。



フォボス(提供:NASA/JPL-Caltech/University of Arizona)

2. 「ダイモス」

フォボスよりも外側^{そとがわ}の軌道^{きどう}を回っているのが、ダイモス。大きさはフォボスよりもっと小さくて直径 12kmです。

実は、4年後の 2024 年にフォボスに向けて探査機^{たんさき}を送り込^{おく}む計画^{けいかく}があります。

現在^{げんざい}、「はやぶさ 2」が小惑星^{しょうわくせい}「リュウグウ」からリュウグウ

のかけらを地球に持ち帰っているところです。これと同じように、探査機がフォボスにいて、どうやってフォボスが生まれたのか調べるのです。楽しみに待ちたいですね。



ダイモス(提供:NASA/JPL-Caltech/University of Arizona)

かいせつじん いとう たかひろ
(解説員:伊藤 貴大)